

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル新潟西		
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人・保護者様のご要望をお聞きし、言語聴覚士・理学療法士などの専門職による専門的な支援が受けられる。	児童が楽しんで自分から「やってみたい」と思えるようなプログラムを柔軟に設定している。	児童発達支援管理責任者による保護者面談の実施の拡充。専門職によるアセスメント及び専門的支援の実施、自分から「やりたい」と思えるような生活動作の向上を目的とした支援、車いす等の環境面の調整等の取り組みを行っていく。
2	保護者の相談しやすい環境・雰囲気であり、家庭との連携強化に努めている。	小さい事でも相談し、相談された時はレスポンスを早く行い、面談の機会を即日行うように心がけている。家で出来る事や環境面のアドバイス、支援の共有を図るための定期的なフィードバックの実施を行っている。	保護者との更なる連携強化のための定期的な保護者交流会や保護者向け研修の開催、保護者との情報共有ツールの活用も積極的に導入していく。
3	日替わりで活動を行い、様々な体験・経験をする環境がある。	5領域をしっかりと取り入れ、その月の課題の狙いを考え、職員間で支援のポイント・褒めるポイントの統一が図れるので、同じ視点での支援が可能。	児童一人一人の特性をつかみ「得意な事は何か?」「今何が一番困っているのか?」を考えながら、職員みんなが情報共有を徹底し統一した支援を実施、さらに質の向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が不足しており、地域資源の活用が十分でない。	地域とのネットワーク構築の機会が少なく、外部との交流が不足している。	地域との連携強化を図るため、地域の学校や福祉施設、地域のボランティア団体との合同イベントや活動の企画開催を行っていく。
2	療育スタッフの人材確保。	人材不足や新人スタッフの育成期間の長さが、安定した支援の提供に影響を与えている。	OJT制度を導入し、新人スタッフ育成の強化を図る取り組みを行っていく。
3	保護者会などの開催。親同士のつながりや、お話ができる場所の提供。また、親も学べる機会を作る。	多機能型の為事業所での開催が困難。開催場所や時間の確保が困難。	まずは、保護者様が一番悩む進学について、支援学校・支援クラス等、実際に経験している保護者様からのお話を聞く会から開催。ターゲットをしばって少人数から複数回開催して行く。